

「消しゴムケース」の再発明

29 年度

中学校 9 年 4 組 5 班

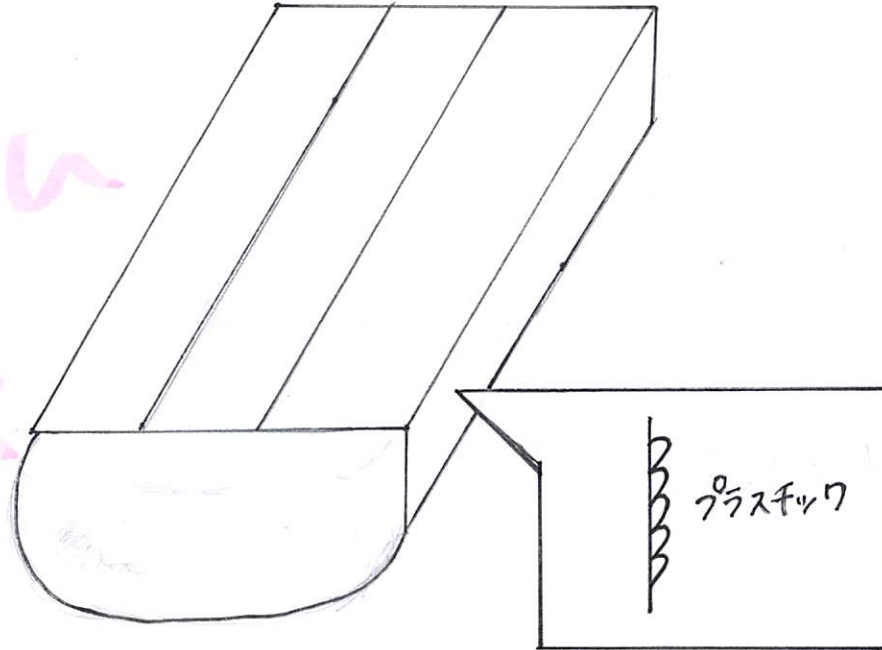
これまでの問題点（現在ある製品の課題など）

消しゴムが「ちいさくなったとき ケースにははいってしまふ

再発明した製品の説明（要約）※図と文章で簡潔に説明すること！



消しゴム
ケース



参考にしたもの、（この再発明を考えるきっかけになった製品やアイデアをできるだけ具体的に書く！）

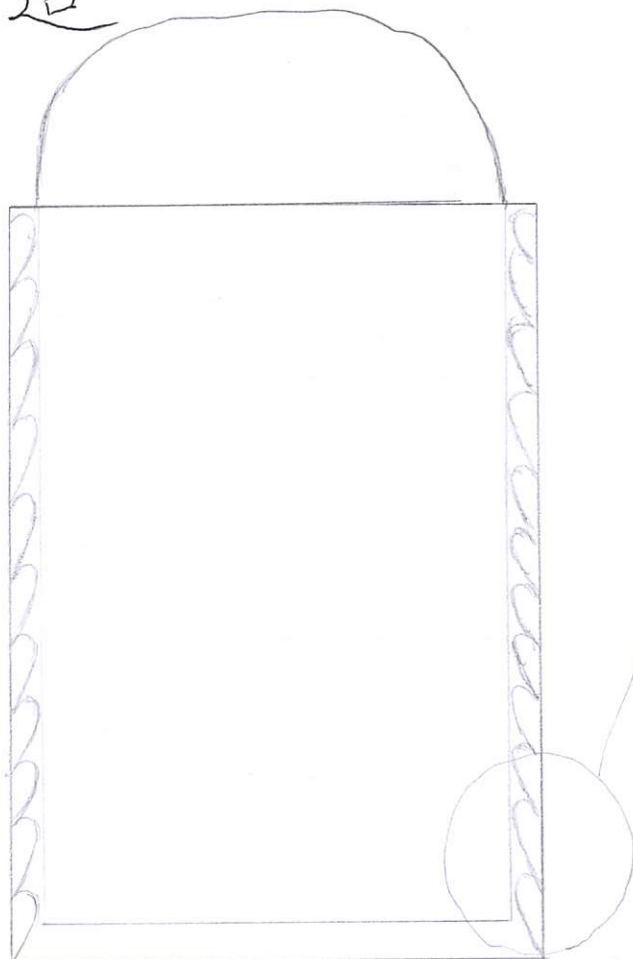
モップかけ

「消しゴムケース」の再発明

29年度 竹園東 中学校 9年 4組 9班

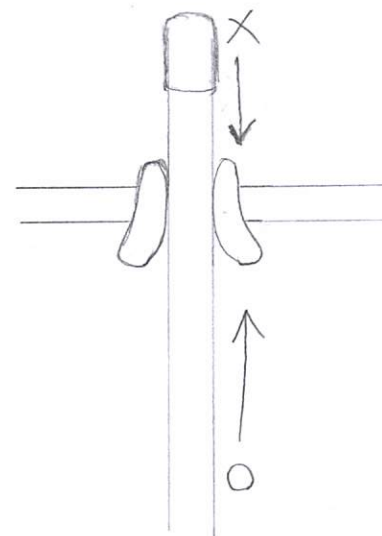


構造

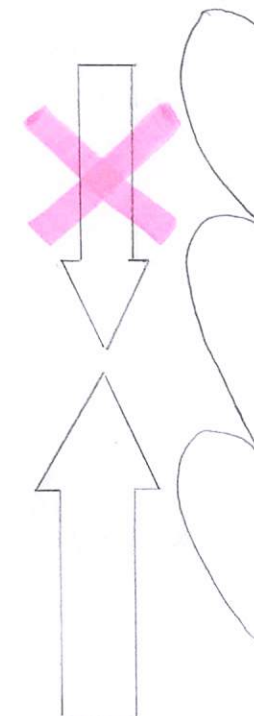


。下から押すときは
ならない目

。上からだと逆目に
なり、入らない。



モップもかける器具を
参考に

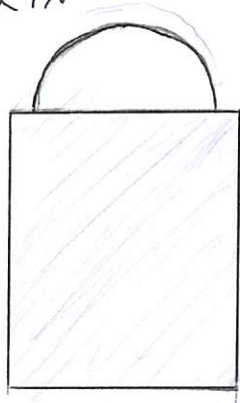


「消しゴム」の再発明

29年度 1個東 中学校 9年 4組 9班



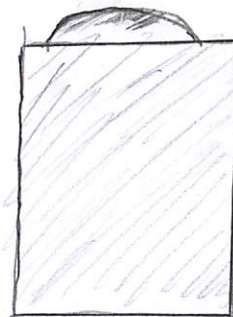
① 最初



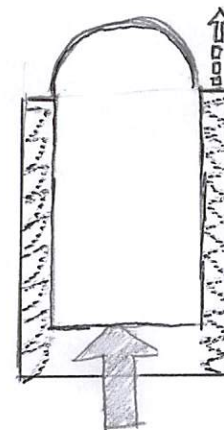
使う

② 削れる

はけずれる



③ 押し出す



下から指などで消しゴム本体を
押す

3ステップ!

(使用方法)

「消しゴム」の再発明

年度

中学校

年

組

班



メリット

- 消しゴムが小さくても使うことができる。
- 消しゴムがカバーの中に入りこまない



デメリット

- 間違って消しゴムを押しこんでしまうと元に戻すための時間がかかる。
- 長く消しゴムを出すと、消しゴムが折れてしまうかもしれない。

